

5つのアクションプランにおける事業モデルとロードマップ<案>

	モデル事業名	事業項目	H.30 年度	<短期目標>	<短・中期目標>	<中・長期目標>
1	仕事・福祉・医療と住宅施策連携モデル【サービスハブ】	サービスハブネットワーク検討委員会設置と行政との連携の仕組みづくり	仕組み検討	サービス事業（仕事・福祉）	本格実施（ハウジング連携）	検証・持続事業へ
		関係者へのニーズ・運営等に関する調査 新たな就労機会を生む就労連携モデル事業（国・府・市と連携） ※既存の日雇労働紹介事業のあり方については、国・府によって検討中 まちとつながる孤立防止と地域医療連携モデル事業	現実実施事業の検証		本格実施	検証・持続事業へ
2	居場所×ハウジングをテーマとするエリアリノベーションによる減炭まちづくりモデル【コレクティブタウン】	持続可能な事業運営手法の確立＜居住支援ツナギ及び支援法人等設立＞ ・空き家BANK・廃材BANK（もったいないプロジェクト） ・インスペクション ・西成警察署と連携した違法民泊対策 ・西成版リノベーションスクール・コンペ	運営組織の検討	サービス体制構築調査実施	サービス実施	本格事業へ
		エリアリノベーションに関わるストック（空き地・空き家）再生モデル事業	事前調査・サービス検討	サービス調査	サービス実施	本格事業へ
3	子どもの夢実現・まちの担い手育成モデル【アクティブラーニング×アーカイブ】	情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など）	情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など）	情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など）	情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など）	情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など）
		子どもの夢実現プロジェクト ・子どもの居場所／遊び場づくりモデル事業 ・森とつながる木材リユースワークショップ	子どもの夢実現プロジェクト ・子どもの居場所／遊び場づくりモデル事業 ・森とつながる木材リユースワークショップ	子どもの夢実現プロジェクト ・子どもの居場所／遊び場づくりモデル事業 ・森とつながる木材リユースワークショップ	子どもの夢実現プロジェクト ・子どもの居場所／遊び場づくりモデル事業 ・森とつながる木材リユースワークショップ	子どもの夢実現プロジェクト ・子どもの居場所／遊び場づくりモデル事業 ・森とつながる木材リユースワークショップ
4	にぎわい創出地域交流モデル【チャレンジ拠点整備】	地域版「屋台村」事業 商店街拠点再生事業 イベント交流事業体制の構築 広域ネットワークとの連携整理 情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など） 仮移転する労働関係施設の本設移転後の利活用検討事業 地域資源発掘プロジェクトを通じた西成若者会議（次世代育成） 西成広域団結（関係人口ネットワーク）	地域版「屋台村」事業 商店街拠点再生事業 イベント交流事業体制の構築 広域ネットワークとの連携整理 情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など） 仮移転する労働関係施設の本設移転後の利活用検討事業 地域資源発掘プロジェクトを通じた西成若者会議（次世代育成） 西成広域団結（関係人口ネットワーク）	地域版「屋台村」事業 商店街拠点再生事業 イベント交流事業体制の構築 広域ネットワークとの連携整理 情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など） 仮移転する労働関係施設の本設移転後の利活用検討事業 地域資源発掘プロジェクトを通じた西成若者会議（次世代育成） 西成広域団結（関係人口ネットワーク）	地域版「屋台村」事業 商店街拠点再生事業 イベント交流事業体制の構築 広域ネットワークとの連携整理 情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など） 仮移転する労働関係施設の本設移転後の利活用検討事業 地域資源発掘プロジェクトを通じた西成若者会議（次世代育成） 西成広域団結（関係人口ネットワーク）	地域版「屋台村」事業 商店街拠点再生事業 イベント交流事業体制の構築 広域ネットワークとの連携整理 情報アーカイブとの連携事業（案内・外国語・情報誌作成など） 仮移転する労働関係施設の本設移転後の利活用検討事業 地域資源発掘プロジェクトを通じた西成若者会議（次世代育成） 西成広域団結（関係人口ネットワーク）
		環境整備事業第2弾：環境美化 ・トイレプロジェクト ・壁アートプロジェクト	環境整備事業第2弾：環境美化 ・トイレプロジェクト ・壁アートプロジェクト	環境整備事業第2弾：環境美化 ・トイレプロジェクト ・壁アートプロジェクト	環境整備事業第2弾：環境美化 ・トイレプロジェクト ・壁アートプロジェクト	環境整備事業第2弾：環境美化 ・トイレプロジェクト ・壁アートプロジェクト
5	西成イメージアップキャンペーン part2【イメージアップ】	情報技術（IoT・ICT・VR等）を活用したプロモーションキャンペーンモデル事業 国連「持続可能な開発目標」（SDGs）の達成に貢献する地域共生社会の実践モデル地区の検討	情報技術（IoT・ICT・VR等）を活用したプロモーションキャンペーンモデル事業 国連「持続可能な開発目標」（SDGs）の達成に貢献する地域共生社会の実践モデル地区の検討	情報技術（IoT・ICT・VR等）を活用したプロモーションキャンペーンモデル事業 国連「持続可能な開発目標」（SDGs）の達成に貢献する地域共生社会の実践モデル地区の検討	情報技術（IoT・ICT・VR等）を活用したプロモーションキャンペーンモデル事業 国連「持続可能な開発目標」（SDGs）の達成に貢献する地域共生社会の実践モデル地区の検討	情報技術（IoT・ICT・VR等）を活用したプロモーションキャンペーンモデル事業 国連「持続可能な開発目標」（SDGs）の達成に貢献する地域共生社会の実践モデル地区の検討

次期特区構想における56項目の整理（区・事務局案）

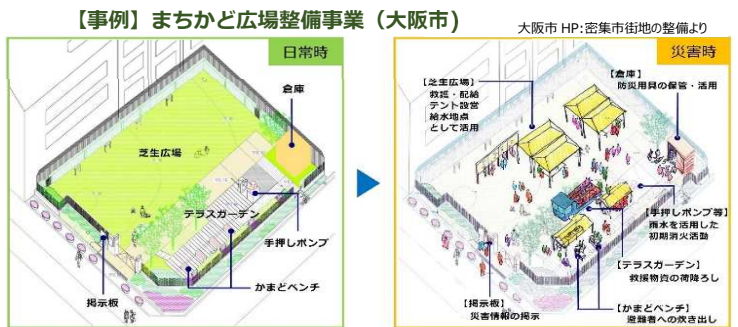
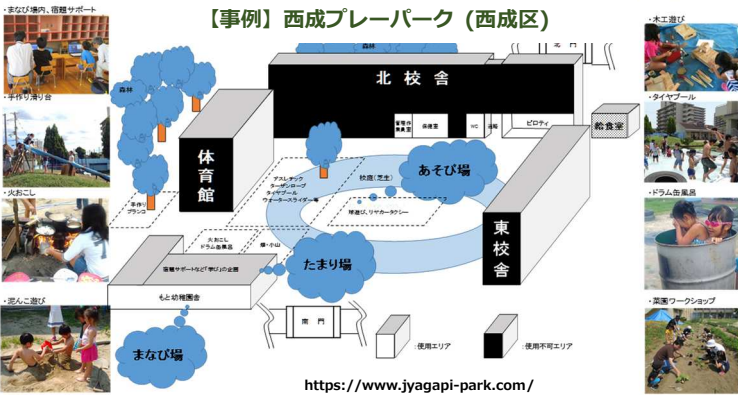
この表は、昨年度に整理された西成特区構想で実施すべき有識者提言項目
今後、次期5年間で継続して取り組むべきテーマと統合するテーマを整理したものである。

①次期特区構想として位置付けないもの

分類 A	【短期集中的対策】11項目	分類 C	【中長期的対策】11項目
2-3	住宅扶助費の見直し	5-5	産科を持つ病院の誘致、もしくは産科の分院や助産院の西成区内への誘致
2-5	南海の越年対策事業の廃止とあいりん地域で事業開始	5-10	子どもの家事のあり方調査
3-2	ワンストップの意思決定・対応ができる結核対策センターの設置	6-6	今宮中学校区統合については、通学路確保の問題を短期集中的に解決
4-2	花園公園の野営生活者に対する平和的な解決	6-7	生活力をつける小中学校統合の新学習プログラムの検討と実施
分類 B	1-5 総合評価一般競争入札の見直しによる就労拡大 2-2 「ケア・支援に関する費用補助または委託制度」の設立および生活保護の自立支援プログラムの実施 3-4 医療扶助による入居患者への施設支援・権利擁護事業 3-5 医療扶助の実施方針と指導監督の強化、診療方針の個別協議 3-6 医療扶助の各改革の運営状況についての定期的な評価報告と情報公開 4-5 防犯のために大量のLED照明の街灯を新たに設置 4-6 再/バトを利用したきめ細やかな監視	分類 D	5-1 保育バウチャー等による保育料の無料化もしくは大幅減免 5-2 保育所の民営化、認定こども園の設置、認可保育所への株式会社への参入 5-3 子育て世帯向けの住宅供給、子育て世帯向け住宅改修に対する補助金創設 5-9 自立援助ホームの設置 6-3 学習塾バウチャーの拡充
各分類説明 A：対策・取組・検討済みの B：一般施策として継続していくもの		分類 E	5-6 子育て世帯に対する市税の優遇 7-4 南海天王寺線の乗降誘導でLRT復活
		各分類説明 C：対策・取組・検討済みの D：一般施策として継続していくもの E：特区事業として実現性がないもの	

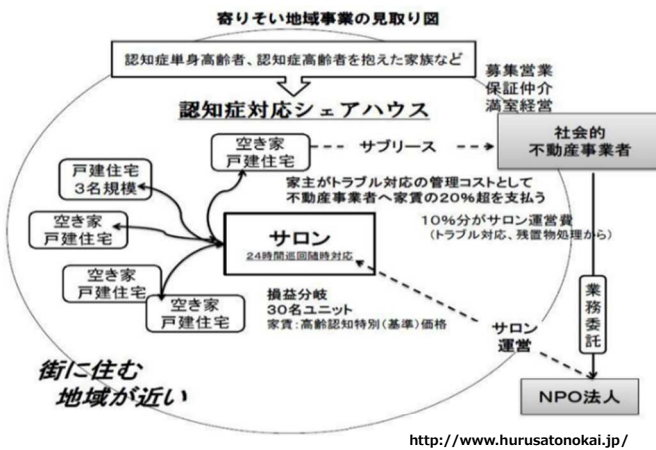
②次期特区構想として継続実施すべきもの（実施・検討）

分類 F	【短期集中的対策】12項目	分類 G	【中長期的対策】19項目	【将来のための投資プロジェクト・大規模事業】3項目
1-1	特選事業のメニュー拡大・事業委託先の拡大	5-4	子育て世帯向けの住宅供給等に用途を限った未利用地の売却	
1-2	自立支援プログラムを活用した高齢者単身生活保護受給者の居場所づくり事業	5-7	各保育所等スクール・ソーシャルワーカー（SSW）を配置	
1-3	ソーシャル・ビジネスを活用した野営生活者の就労拡大	5-8	子ども版（親子版）地域包括支援センターの整備	
1-4	未利用地を活用したコミュニティ菜園の提供	6-1	大学分校（学部や大学院）の誘致	
2-1	ワンストップ型「あいりん地域トータルケア・システム」の構築	6-2	大規模学生生活館の設置	
2-4	夜間緊急避難所の建設と居場所づくり	6-4	西成版補習夜スベの実施	
3-1	結核患者に対する総合的結核対策、民間支援者と連携した患者ベースの管理システムの構築	6-5	セレンソ、大アビルを活用した西成区小中学校の教育の特長づくり	
3-3	医療相談室の設置	7-1	国際ゲストハウスエリアのゾーニング	
		7-2	外国語有識者の設置、各国語によるHPの開発、パンフレットの作成	
		7-3	屋台村構想の実施	
		7-5	バスターミナル設置	
		7-6	西成ライブエンターテインメント祭の開催	
		7-7	ニシナリ（あいりん）・国際アートフェスティバルの開催	
		7-8	西成の観光案内のスペシャリストを養成	
		7-9	歴史的観光遺産の整備と資源化	
		7-10	西成情報・アーカイブネット（館）の設置	
		7-11	芸術家に対する商店会の借り上げ店舗、芸術家の居住スペースを提供	
		7-12	アートスペースの設置	
		7-13	イメージアップ戦略の継続と拡大	
				各分類説明 F：現状においても、なお、西成区特有のものとして解決すべき課題に対応する事業を継続する。 G：未だ効果検証中の事業もあり、今後、地域の議論などを踏まえ事業継続の要否などの精査を行っていく。 H：すべて継続（時期を設定）



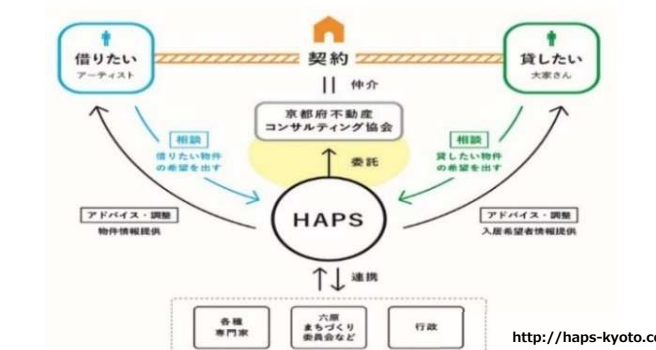
【事例】寄りそい地域事業（NPO ふるさとの会） 地域善隣事業

地域の空き家を社会的不動産事業者が借上げて低所得高齢者に貸し、NPO 法人が生活支援や居場所づくり、相談業務を担っている。支援付アパート、自立援助ホーム、空き家戸建て活用型などがある。



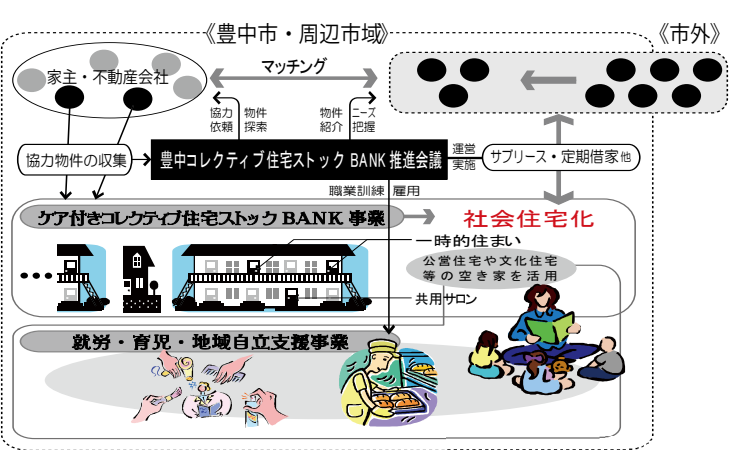
【事例】京都 HAPS（東山アーティスト・プレイメント・サービス）

空き家を活用して、アーティストの住まいや工房、ギャラリーなどをマッチング。アーティスト活動を支援しながら町への定住を図っている。



【事例】文化住宅一棟丸ごとコレクティブ型ソーシャルハウジング

東北震災被災母子世帯を対象に「生活自立支援付住宅」を提供。空き家が多く高齢者の一人暮らしが多い文化住宅の空き家を活用し、1室を棟全体の居住者が集う共有リビングとしてリノベーションした実験住宅。



【事例】まちごとホテル<街全体を使って住まいの一部・施設の一部に>

